

静岡県が

ついに

「内部障害3級にも重度心身障害者医療費助成を適応」

「乳幼児医療費助成の就学前まで引き上げ！！」

「母子家庭等医療費助成の拡大！！」

12月より

実施

## Point 1: 重度心身障害者医療費助成について

重度心身障害者医療費助成は、心身に重度の障害を持つ方が、病院などで受診した場合、保険診療にかかった医療費の自己負担金について、助成する制度です。

対象者・・・健康保険に加入しており、身体障害者手帳1、2級、内部障害3級の方（在宅酸素など）、療育手帳A、特別児童扶養手当1級に該当する、静岡県に住所がある方。

助成の範囲・・・医療機関等の窓口で支払う保険診療料による自己負担分および入院時食事標準負担分です。（当該障害に係る医療費のみ所得制限あり）

手続き・・・障害手帳、健康保険証、印鑑持参の上市町村まで

## Point 2: 乳幼児医療費を就学前まで拡大

通院の対象年齢を就学前まで拡大（就学前の3/31日まで）

3歳以上の子に適用されている入院日数制限を廃止

児童手当の所得制限を導入。ただし多子世帯は3人以降は所得制限を適用しない。

## Point 3: 母子家庭医療費助成の拡大

対象年齢が現行18歳から20歳になりました。

給付方式が、償還払いから自動償還払いとなり、申請手続きが不要になりました。

### 【償還払い方式】



自動償還払いとは、の医療費助成の申請手続きを自動化した制度です。

各市町村によって異なることもありますので、詳細は各窓口にお問い合わせください。

## 漢方薬の飲み方

気軽に服用している漢方ですが、どんな飲み方が効果的なのか、副作用・相互作用はないのか等、曖昧なまま服用されている方も多いのではないのでしょうか？今回は漢方薬の服用のコツや気を付けたい事などを紹介します。

### 服用方法について

基本的には、お湯に溶かし熱すぎないように少しさめてから服用して下さい。こうする事で体内への吸収が良くなるという報告もあり、またお湯に溶かす事での漢方薬成分の独特な香りや味も効能効果に微妙に影響を及ぼすと言われています。しかし時間的に余裕がない場合には、そのままぬるま湯又は水で服用する方法もあります。中には冷やしてから服用するとよいものもありますので、下を参考にして下さい。

#### 冷やして服用するもの

おうれんげどくとう だいおうぼたんびとう いんちんこうとう びゃっこかにんじんとう  
黄連解毒湯(15), 大黄牡丹皮湯(33), 茵陳蒿湯(135), 白虎加人参湯(34)など

#### 温かいまま服用するもの

かっこんとう あんちゅうさん ごしゅゆとう だいけんちゅうとう ごしゃくさん はちみじおうがん  
葛根湯(1), 安中散(5), 呉茱萸湯(31), 大建中湯(100), 五積散(63), 八味地黄丸(7)など

冷え性の方や、高齢の方も温かいまま服用した方が良いとされています。

なお、水以外のものでの服用については、お茶はタンニンと漢方薬との成分と反応する可能性があり、牛乳はそのたんぱく質と漢方薬の成分とが結合し吸収が低下すると考えられ、ジュース類なども同様に注意が必要ですので避けるほうがよいでしょう。

### 服用時間について

漢方薬の服用は、食前または空腹時が望ましいとされています。しかし、薬を服用する事がまず大切ですので、食前の服用が忘れやすいようでしたら食後でも差し支えありません。

### 副作用と相互作用について

漢方薬には副作用がないとか、作用が弱いと考えがちですが風邪薬のように短時間で作用を発揮するものもあり、人体に作用し体内で代謝される物質である以上、期待しない効果(有害作用)が起こり得ると考えられます。場合によっては「発疹」「排便異常や胃のもたれ・吐気などの胃腸障害」「のぼせ、動悸などの神経症状」などの症状が現れることもあります。このような時には服用を中止あるいは服用量を調節することで軽快することが多いので薬剤師や医者にまず相談をして下さい。また複数の漢方薬を服用している場合、重複に注意すべき成分もありますので1日量や漢方薬以外のお薬との相互作用を確認する必要があります。気になる方は薬局でチェックしてもらいましょう。また、長期服用する場合は定期的に血液検査をし、肝機能などに異常が無いか確認することをお勧めします。

#### まとめ

お湯で溶かして服用するのが理想だが、顆粒のままの服用でも構わない。

服用を続けることが大切。

服用は満腹時を避け、食前30分もしくは食間に。

漢方も他のお薬と同様、飲み合わせや副作用等のチェックが必要です。